

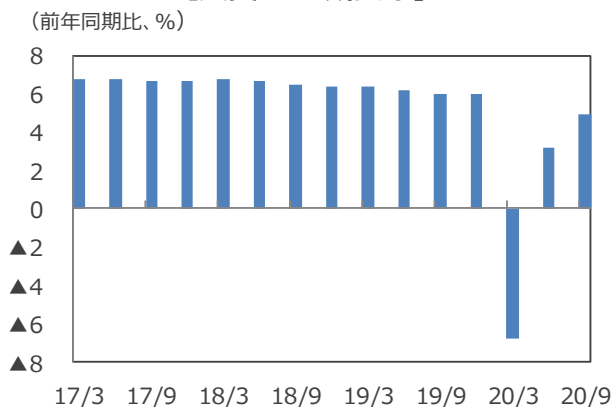
今日のトピック 中国のGDP成長率は+4.9%、2期連続プラス 中国経済の回復基調は続き、世界経済をけん引

ポイント1 7-9月期GDPは+4.9%

市場予想に対してはやや下回る

- 中国国家统计局は19日、主要経済指標を発表しました。7-9月期の実質GDP成長率は前年同期比+4.9%と、市場予想（同+5.5%）を下回ったものの、前期の同+3.2%から伸び率が拡大しました。
- 中国経済は1-3月期にマイナス成長に陥りましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の封じ込めに成功し、4-6月期には生産主導でプラス成長に戻り、7-9月期は成長が更に加速しました。

【実質GDP成長率】



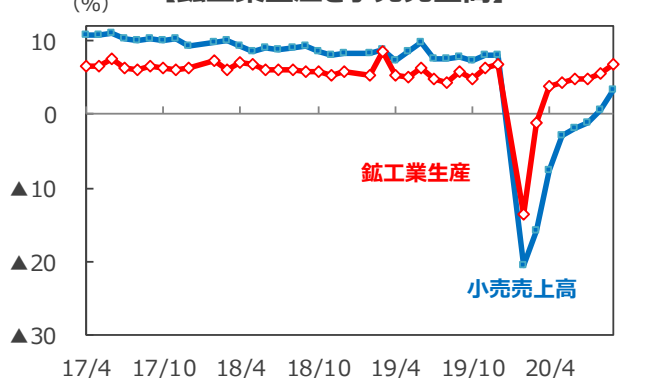
(注) データは2017年1-3月期～2020年7-9月期。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 消費は持ち直し

生産や投資も回復続く

- 9月の小売売上高は前年同月比+3.3%と、8月の同+0.5%から大きく伸びました。新型コロナの影響で飲食業などは未だマイナスですが、自動車や化粧品などの販売は堅調な動きとなりました。
- 9月の鉱工業生産は前年同月比+6.9%と、8月の同+5.6%から伸び率が拡大しました。品目別の生産量をみると、産業用ロボットや自動車などが高い伸びとなりました。
- 1～9月の固定資産投資は前年同期比+0.8%と、1～8月の同▲0.3%からプラス転換し、今年に入って初めて前年を上回りました。

【鉱工業生産と小売売上高】



(注) データは2017年4月～2020年9月、前年同月比。
各年2月のデータは1～2月の年初来累計の前年同期比。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

中国経済の回復基調は続き、世界経済をけん引

- 7-9月期のGDP成長率は市場予想をやや下回りましたが、1～9月でみると前年同期比+0.7%と、通年でプラスに転じました。9月の他の主要経済指標は概ね市場予想を上回り、中国経済が順調に回復していることを示しました。国際通貨基金（IMF）の世界経済見通しによると、中国の経済成長率は2020年+1.9%、2021年+8.2%と予測されており、中国は当面世界経済をけん引するとみられます。

ここも チェック!

2020年10月16日 中国の『国慶節』消費は好調

2020年10月12日 運用者の視点：中国の『ライブコマース』

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。